

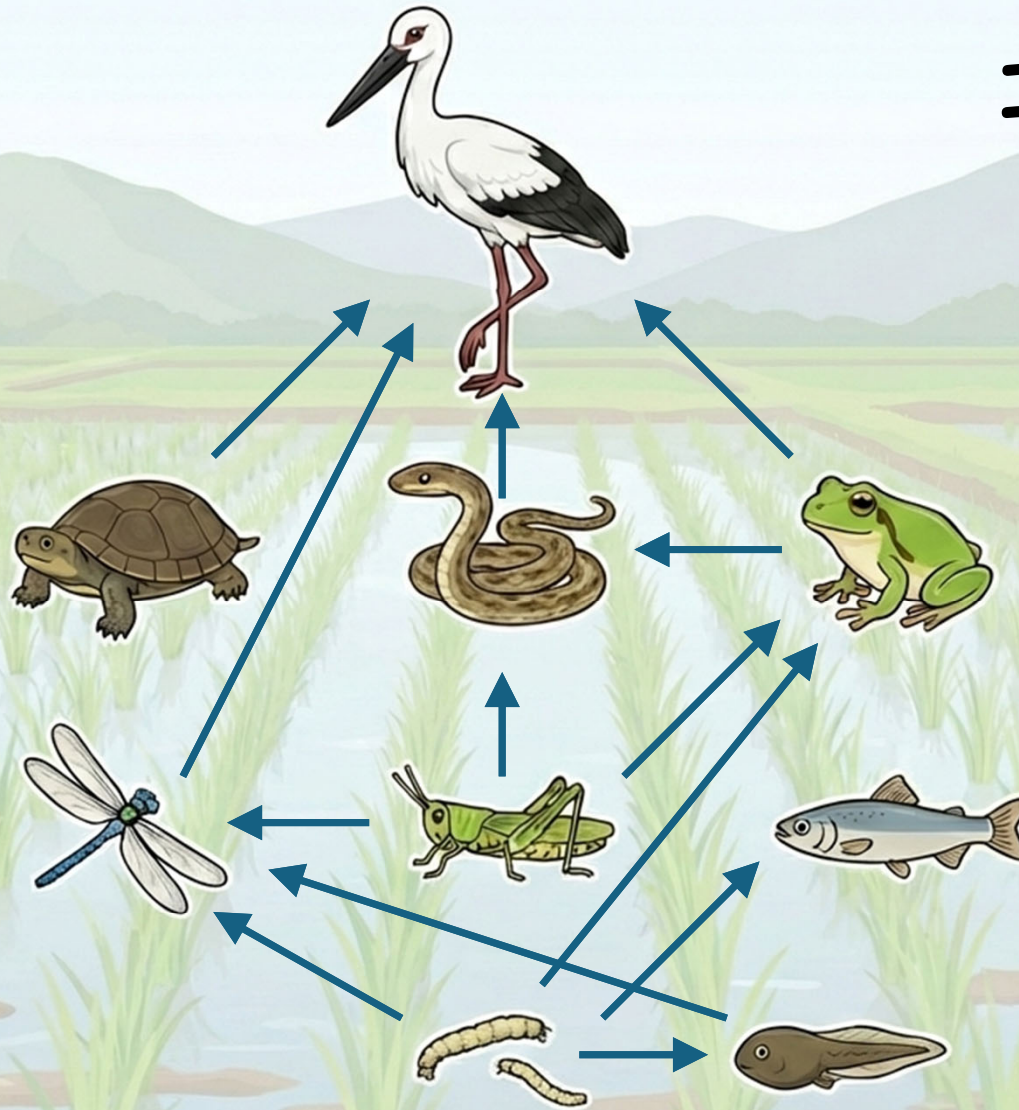


有機農業を核としたまちづくり
- 兵庫県豊岡市 -



日本で一度は絶滅した コウノトリ

コウノトリも 住める環境



コウノトリの主な餌場は田んぼ

田んぼの生態系 (イメージ) 3



以前の田んぼ



現在の田んぼ



コウノトリ復活のプロセスで
最も重要だったこと“農業”



コウノトリ育む農法 の定義

おいしい農産物と多様な生きものを
育み、コウノトリも住める豊かな文
化、地域、環境づくりを目指すため
の農法

(安全な農産物と生きものを同時に育む農法)

コウノトリ育む農法

2002年 豊岡市が有機農業の勉強会を開催

2003年 一部の圃場で無農薬・無化学肥料栽培がスタート

2005年 命名「コウノトリ育む農法」

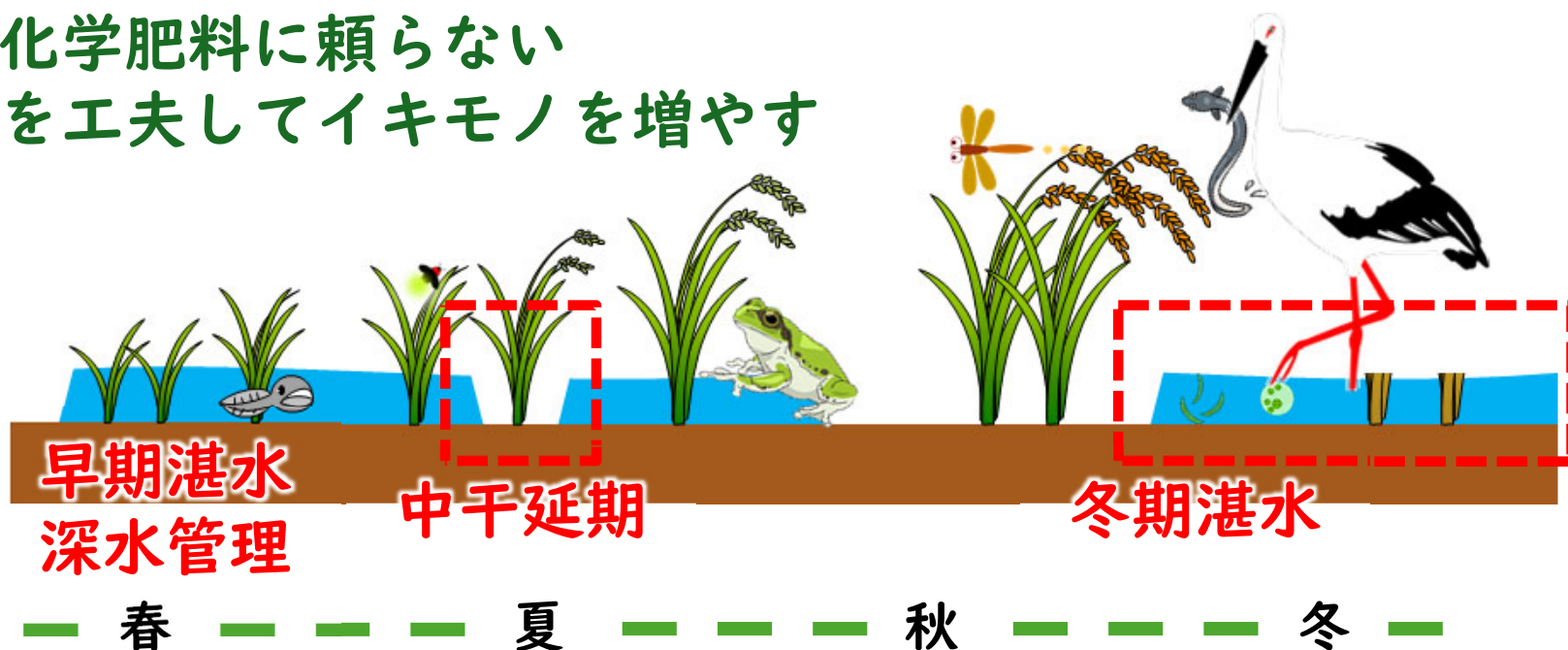
2006年 コウノトリ育むお米生産部会（JAたじま）が発足

2014年 ネオニコチノイド系殺虫剤の使用をやめる（減農薬タイプ）

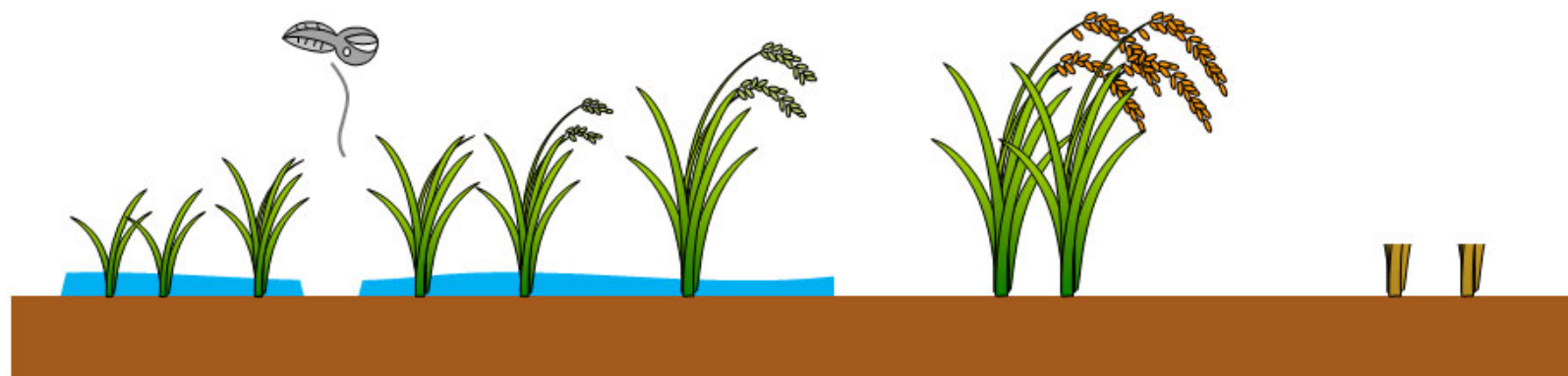
2016年 全ての殺虫剤の使用をやめる（減農薬タイプ）

- ①農薬・化学肥料に頼らない
- ②水管理を工夫してイキモノを増やす

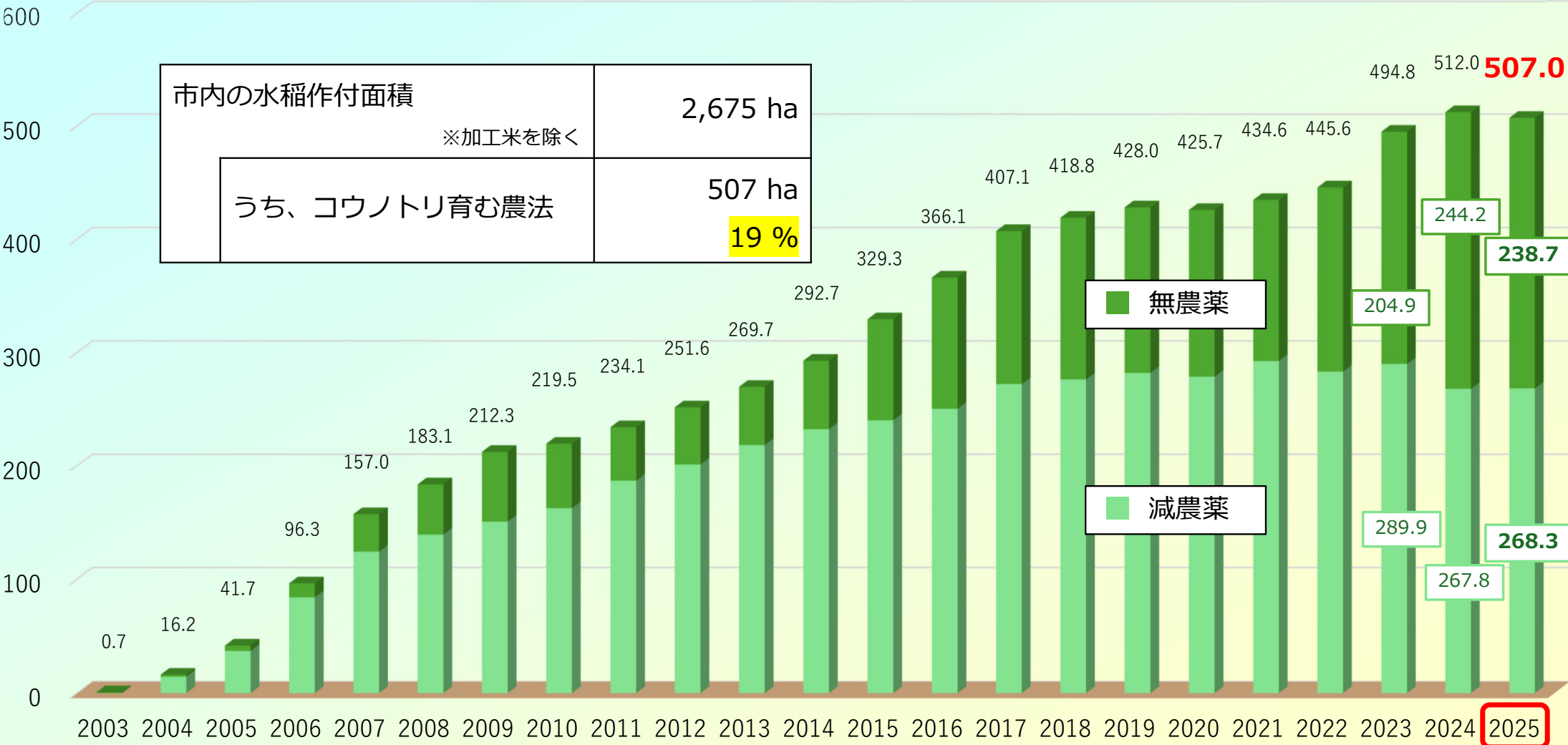
コウノトリ
育む農法



一般的な
農法

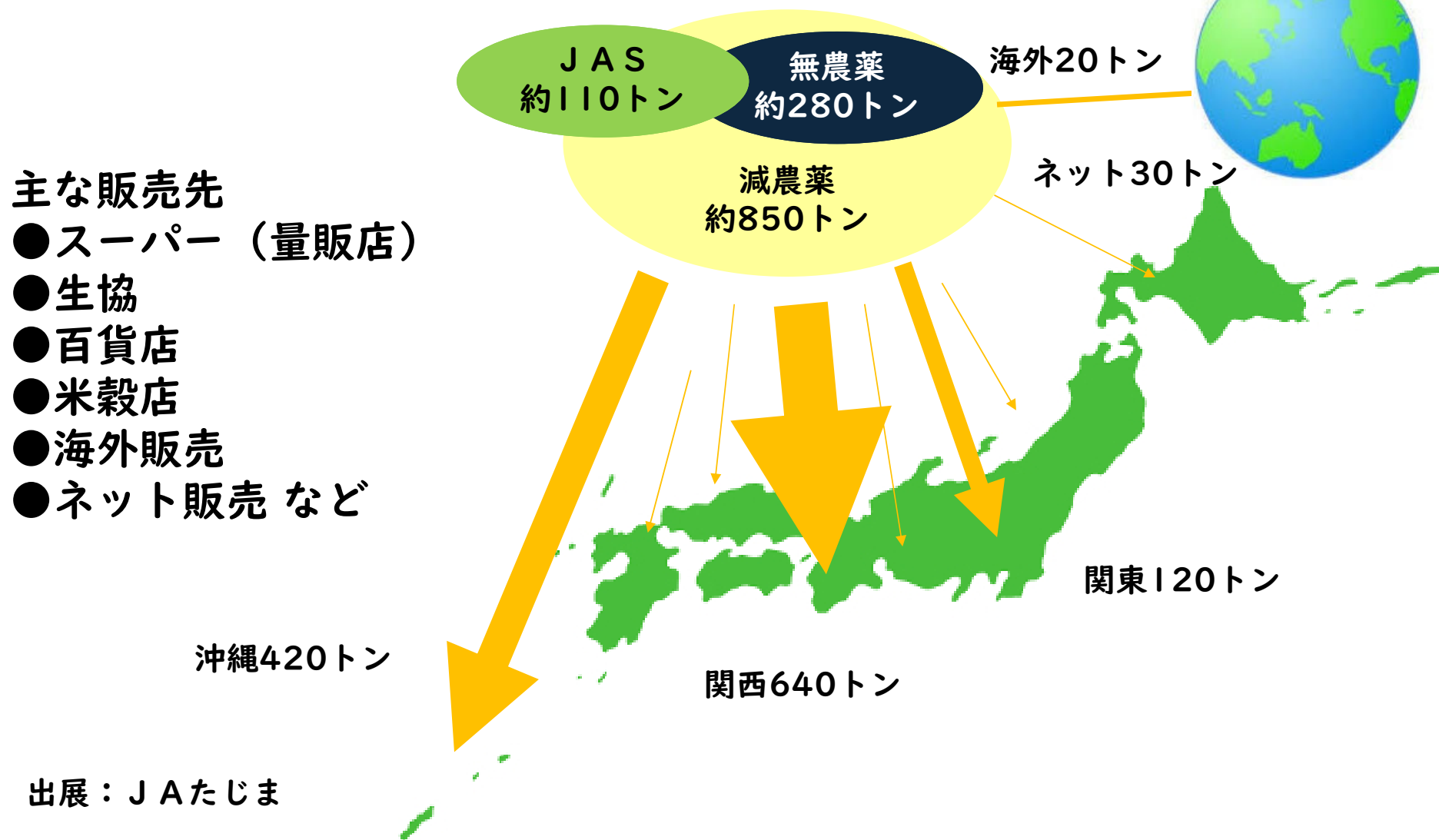


コウノトリ育む農法の水稲作付け面積（単位：ha）



市内の水稲作付け面積	2,675 ha
※加工米を除く	
うち、コウノトリ育む農法	507 ha
	19 %

コウノトリ育むお米の販売状況



コウノトリ育むお米の輸出



生産者

四位一体の普及・推進体制

販売

J A

行政



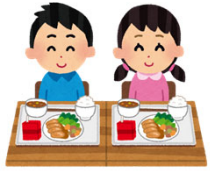
コウノトリ育むお米を給食へ！

2007年3月 市内の小中学生が、市長に直談判

2007年度 2か月に3回「コウノトリ育むお米（減農薬）」に

2009年4月 週1回「コウノトリ育むお米（減農薬）」に

2016年4月 週5回すべて「コウノトリ育むお米（減農薬）」に

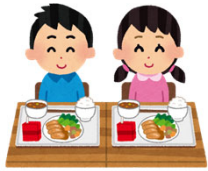


子ども達の考えたロジック

コウノトリ育むお米を食べる
(消費が増える)

コウノトリ育む農法の田んぼが増える

コウノトリや多様なイキモノが
イキイキと暮らせる自然環境が増える



給食のごはんを無農薬に！



年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027 目標
提供期間	1カ月	3カ月	4カ月	6カ月	8カ月	通年
面積	2.3ha	8.7ha	12.2ha	20.4ha		
数量（精米）	実績 7トン	実績 21トン	実績 33トン	必要量 約44トン	必要量 約62トン	必要量 約82トン
生産者数	1	10	12	18		



野菜も無農薬に！



年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027 目標
提供期間	1カ月	3カ月	4カ月	6カ月	8カ月	通年
面積	2.3ha	8.7ha	12.2ha	20.4ha		
数量（精米）	実績 7トン	実績 21トン	実績 33トン	必要量 約44トン	必要量 約62トン	必要量 約82トン
生産者数	1	10	12	18		
有機野菜	1回/年	1回/年	3回/年	6回/年	9回/年	12回/年



2023.4 有機農業実施計画、オーガニックビレッジ宣言



Cybister chinensis

ナガコガネグモ
Argiope bruennichi

コノイタチ
Mustela itati

タカメ
Kirkaldyia deyrolli

ニホンミツバチ
Apis cerana

5668

Insecta 1,726 Arachnidae & Acari 141 Amphibians & Reptiles 61 Fishes 143 Molluscs 73
 Crustaceans & Rotifers 317 Nematoda & Annelida 91 Birds 189 Mammals 50
 Protista & Cyanobacteria 597 Plants 2,075 Virus Bacteria & Fungi 205
TOTAL 5,668 species

ウキクサニミソムシ
Limnephilus brevipennis

コハネイナゴ
Oxya yezoensis

ウキクサ
Spiridella polyrrhiza

ホウネンエビ
Branchinella kugeleri

ウツクサ
Utricularia

イチョウウミコケ
Ricciocarpus natans

カルガモ
Anas poecilorhyncha

クモヘリカサネ
Leptocoris sp.

ナマス
Silurus asotus

ガマキリ
Tenodera sp.

タマイエビ
Lynceus biformis

ニホンイモリ
Cynops pyrrhogaster



ヘビ

ヌカカ
Oryzias latipes

カサガニ
Gentlephusa dehaani

出展：NPO法人 田んぼ

トウキョウダルマガエル
Rana porosa porosa

ヒメアカタテハ
Cynthia cardui



滅びゆくものはみな美しい
しかし滅びさせまいとする願いはもっと美しい



人間と動物が愛情によって固く結ばれる文明こそが、
人類文明の名に値するものだ。

あらゆる努力を傾倒して、
この哀鳥の滅亡を救うことに成功したとき、
日本人ははじめて文明国民として世界中から認められるだろう。

「ほろびゆくものはみなうつくしい」とは
詩人の詠嘆（感動を声に出すこと）だ。

だが、滅びゆくものを救うことこそ、
もっと美しい人間の任務である。